

製品名: GGH ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11428**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	GGH
別名	GGH; Gamma-glutamyl hydrolase; Conjugase; GH; Gamma-Glu-X carboxypeptidase
遺伝子 ID	8836.0
SwissProt ID	Q92820
免疫原	抗血清はヒト GGH 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

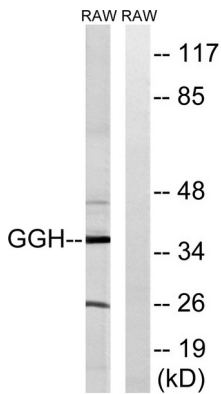
この遺伝子は、 γ 結合型ポリグルタミン酸とグルタミン酸を除去することにより、葉酸ポリ- γ -グルタミン酸および抗葉酸ポリ- γ -グルタミン酸の加水分解を触媒する。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: γ -グルタミル結合の加水分解、機能: プテロイルポリグル

タミン酸のポリグルタミン酸側鎖を加水分解する。プテロイルポリ- γ -グルタミン酸から γ -グルタミル残基を段階的に除去し、プテロイル- α -グルタミン酸（葉酸）と遊離グルタミン酸を生成する。食物由来のプテロイルポリグルタミン酸のバイオアベイラビリティ、およびプテロイルポリグルタミン酸と葉酸代謝拮抗薬の代謝において重要な役割を果たす可能性がある。類似性：ペプチダーゼ C26 ファミリーに属する。類似性：1つの γ -グルタミルヒドロラーゼドメインを含む。細胞内局在：細胞内では主にリソソームに局在するが、酵素活性の大部分は分泌される。質量分析法によって、ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画で同定されている。

研究分野

葉酸の生合成;

画像データ



GGH 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。